

いちごねこ 3D ふっくら型紙

作り方説明書

初心者向け・マチの使い方つき / 型紙 v0.2 専用



この説明書のゴール

型紙の A～L パーツを使って、綿を詰めたふっくらした二足歩行の「いちごねこ」ぬいぐるみを 1 体作る
ことです。

最初の 1 体は本番ではなく、練習用フリースで作る前提にしてください。

目次

- 1. 最初に知ること：線・中表・返し口・ダーツ・マチ
- 2. 材料と道具
- 3. 型紙の印刷と布への写し方
- 4. パーツ一覧と裁断枚数
- 5. 顔と帽子を先に作る
- 6. ダーツの縫い方
- 7. 頭マチ B の使い方
- 8. 胴体マチ G の使い方
- 9. 手・足・しっぽの作り方
- 10. 頭・体・手足・しっぽの合体
- 11. 綿詰めと形の直し方
- 12. 最終チェックリスト

大事

この説明書は、型紙 PDF「strawberry_cat_plush_pattern_3d_v02.pdf」と一緒に使います。型紙は A4・100%・拡大縮小なしで印刷してください。

1. 最初に知ること

この型紙は、普通の平面型紙ではなく、頭と体に「マチ」を入れて厚みを作る 3D 用型紙です。前後 2 枚だけで作ると板のように平たくなりますが、マチを入れると綿を詰めたときに丸くなります。

1-1. 実線と破線

線の種類	意味	作業
実線	裁断線	ハサミで布を切る線
破線	縫い線	この線の上を縫う線

縫い代について

この型紙は縫い代 5mm 込みです。型紙の外側にさらに縫い代を足す必要はありません。

1-2. 中表

中表とは、布の表側同士を内側に向けて重ねることです。ふわふわ生地なら、ふわふわ面同士を内側に合わせます。縫ったあとに返し口からひっくり返すので、最後はふわふわ面が外に出ます。

1-3. 返し口

返し口は、縫わずに残す穴です。そこから表に返して、綿を入れ、最後に手縫いで閉じます。頭と体は必ず返し口を残してください。

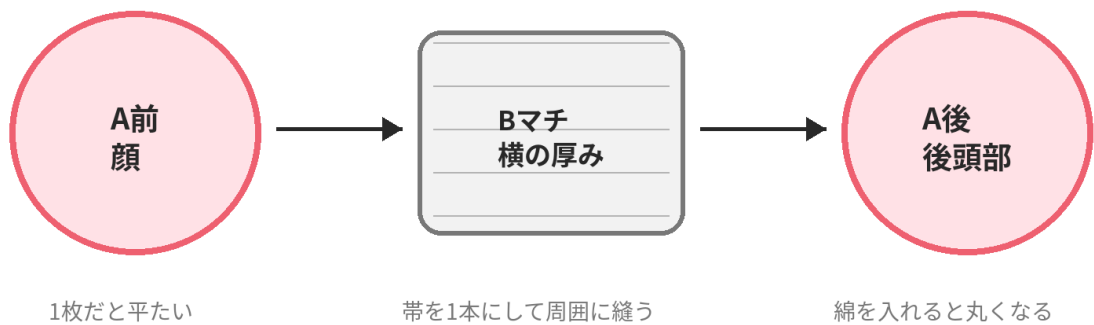
1-4. ダーツ

ダーツは三角形をつまんで縫うところです。今回の型紙では、顔の下側がポコッと膨らみすぎないようにする役割があります。

1-5. マチ

マチは、前パネルと後ろパネルの間に入れる「帯」です。お弁当箱で言えば、フタが前パネル、底が後ろパネル、横の壁がマチです。

マチは「前」と「後ろ」の間に入れる横の壁です



マチを入れると、前後2枚の布に横の厚みが生まれます。

2. 材料と道具

最初の1体は、必ず練習用として安いフリースで作るのがおすすめです。形が確認できたら、本番生地として短毛ボア・マイクロファー・タオル地系を使います。

種類	必要なもの	メモ
生地	ピンク・緑・黄色	試作はフリース。本番は短毛ボアがおすすめ
顔	黒フェルト、白フェルト、刺繍糸	目・鼻・ヒゲは刺繍かフェルト縫い付け
しっぽ先	黄色生地、赤フェルトまたは赤刺繍糸	黄色丸パーツの中央にハート
中身	手芸綿 80～120g	足としっぽ先は固め、胴体は少し柔らかめ
道具	布用ハサミ、チャコペン、まち針/クリップ、針、糸	ミシンがあると楽。手縫いでも可能
仕上げ	割り箸または綿詰め棒	細い部分に綿を押し込むため

安全に作るなら

子ども向けにする場合、ボタン目・ビーズ・ワイヤーは避けてください。目やハートは刺繍またはフェルトをしっかりと縫い付ける方法が安全です。

3. 型紙の印刷と布への写し方

- 1. 型紙 PDF を A4・100%・拡大縮小なしで印刷します。
- 2. 印刷後、ページ内の「5cm 確認四角」を定規で測ります。5cm なら OK です。
- 3. 紙の型紙は実線で切ります。
- 4. 布の裏側に型紙を置き、チャコペンで外側の実線を写します。
- 5. 初心者は破線の縫い線も布に写してください。縫う場所がわかりやすくなります。
- 6. 布を実線で切ります。縫い代はすでに含まれているので追加しません。

ふわふわ生地を切るコツ

毛をざっくり切ると断面が汚くなります。布の裏側から、ハサミの先で土台布だけを切るようにすると毛並みが残りやすいです。

4. パーツ一覧と裁断枚数

型紙の記号と必要枚数です。裁断前にこの表でチェックしてください。

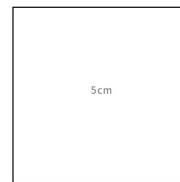
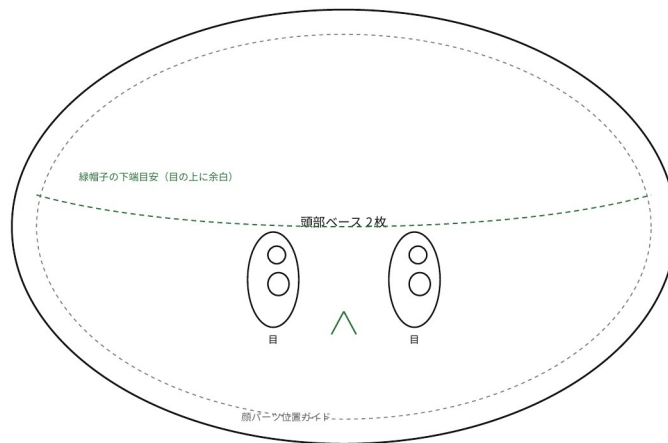
記号	パーツ	枚数	メモ
A	頭ベース	ピンク 前 1・後 1	前だけ顔を作る
B	頭マチ	ピンク 2 本	短辺をつないで長い帯にする
C	緑帽子	緑 前 1・後 1	アププリケ方式がおすすめ
D	帽子サイド帯	緑 1 本	必要なら延長
E	耳	外緑 4・内黄 2	左右 2 個分
F	胴体	ピンク 前 1・後 1	丸い胴体
G	胴体マチ	ピンク 2 本	短辺をつないで長い帯にする
H	手	ピンク 4 枚	左右 2 本分
I	足	側面 4・足底 2	自立用に固めに綿
J	しっぽ	ピンク 2 枚	左右反転
K	しっぽ先	黄色 2 枚	丸パーツ
L	ハート	赤 1 つ	刺繍またはアププリケ

型紙ページの見方

下のサムネイルは、主に使うページの確認用です。実際の裁断は元の型紙 PDF を 100% で印刷した紙を使ってください。

1. 頭部ベース（前・後ろ共通）

ピンク生地で2枚。前面に顔、前後に緑帽子部分を重ねます。

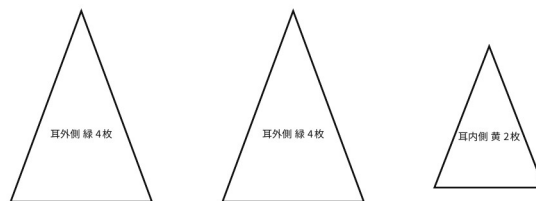
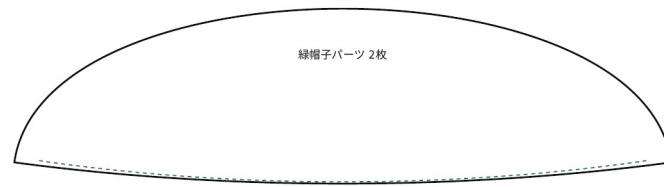


印刷後にこの5cmが5cmならOK
每カラー画用紙の寸法 型紙 v0.1 / page 2

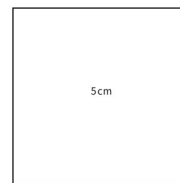
Page 2 : A 頭ベース

2. 緑の帽子パーツ・耳

帽子パーツは緑生地2枚。耳は外側緑4枚、内側黄色2枚をアププリケ。



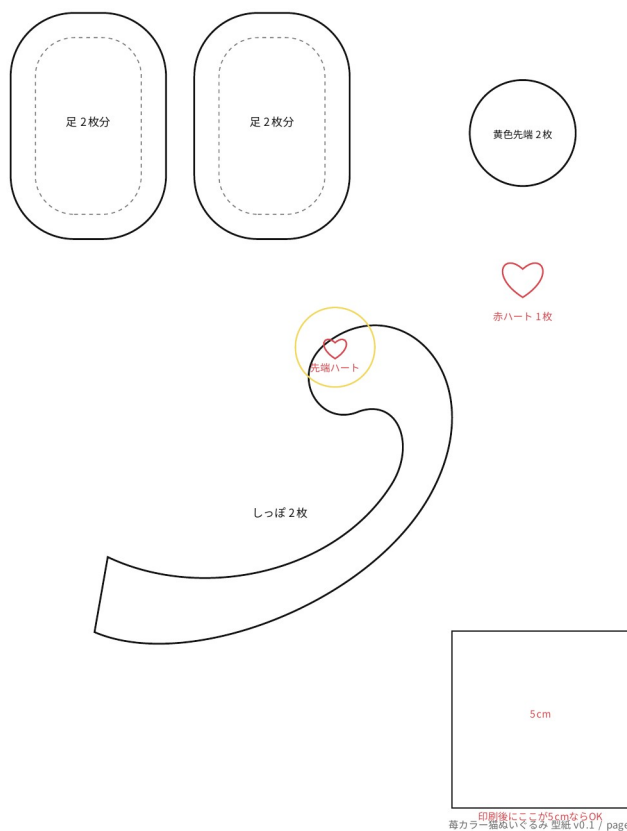
耳は2枚を中表で縫う → 表に返す → 頭に挟み込む



印刷後にここが5cmならOK
每カラー墨盛いくるみ 型紙 v0.1 / page 3

4. 足・しっぽ

足はピンク4枚。しっぽはピンク2枚+黄色先端+赤ハート。



Page 5 : F/G 胴体と胴体マチ

5. 顔と帽子を先に作る

順番が重要

顔・鼻口・ヒゲ・緑帽子は、頭を立体に縫う前に A 前パネルへ付けます。頭を縫ってから顔を作ると、布が丸くなって作業しにくくなります。

5-1. A 前パネルに顔を作る

7. A 頭ベースの「前」用ピンク布を 1 枚用意します。
8. 黒い楕円の目を左右に置き、位置を確認します。左右の高さをそろえます。
9. 黒フェルトを縫い付けるか、黒糸で刺繍します。
10. 白ハイライトを白フェルトまたは白刺繍で入れます。
11. 目と目の間の少し下に、緑糸で漢字の「人」のような鼻口を刺繍します。
12. 左右の目の外側、少し下斜め 45 度あたりに、短い緑線を 2 本ずつ刺繍します。

5-2. 緑帽子Cをアップリケする

初心者は、緑帽子Cを別パーツとして頭に縫い込むより、A頭ベースの上へ重ねて縫い付ける「アップリケ方式」が安全です。

13. A前パネルの上にC緑帽子を重ねます。
14. 目の上に少しピンクの余白が残る位置にします。
15. まち針またはクリップで固定します。
16. 帽子の下カーブ部分を細かく縫います。手縫いならたてまつり縫い、ミシンなら細かいジグザグ縫いがおすすめです。
17. A後パネルにも同じようにC緑帽子を付けます。

6. ダーツの縫い方

ダーツの縫い方：顔下を少し絞って下ぶくれを防ぐ



A頭ベース下側の三角がダーツです。

18. A前パネルの下ダーツ位置を確認します。
19. 三角形の中心線で布を折り、中表にします。
20. 三角形の左右の線がぴったり重なるようにします。
21. 三角形の根元から先端へ向かって縫います。
22. 先端は返し縫いを強くしすぎず、糸を結んで止めます。
23. 縫ったダーツの余り布は片側に倒します。

ダーツの役割

ここを縫うと顔の下が少し絞られます。顔の下側だけボコッと膨らむのを防ぎ、頭が上に丸く見えやすくなります。

7. 頭マチ B の使い方

この説明書で一番大事なところです。B 頭マチは、頭の奥行きを作るための帯です。A 前と A 後の間に B をぐると入れます。

頭マチBの縫い順：前パネル → マチ → 後ろパネル



頭マチ B の基本の縫い順

7-1. B を 1 本の長い帯にする

24. B 頭マチ 1/2 と B 頭マチ 2/2 を用意します。
25. 2 本の短い辺同士を中表で合わせます。
26. 短辺を縫って、長い 1 本の帯にします。
27. 縫い代は片側へ倒します。

7-2. A 前パネルに B マチを縫う

28. A 前パネルを表向きに置きます。
29. B マチを中表で重ねます。つまり、A 前の表面と B マチの表面を内側同士にします。
30. 上中心・下中心・左右の印を先に合わせ、クリップで止めます。
31. その間を少しずつクリップで止めていきます。
32. 丸い A 前に、まっすぐな B マチを少しずつ沿わせながら破線の上を縫います。

カーブが縫いにくいとき

B マチの縫い代部分に、3～5mm 間隔で小さな切り込みを入れると曲がりやすくなります。ただし、縫い線まで切らないでください。

7-3. A 後パネルを B マチの反対側に縫う

33. A 後パネルを中表で B マチの反対側に合わせます。

34. 上中心・下中心・左右の印を合わせます。
35. 後頭部の下側に 5〜6cm の返し口を残します。
36. 返し口以外をぐるっと縫います。
37. 返し口から表に返します。

7-4. 頭に綿を入れる

38. 綿を小さくちぎります。大きな塊で入れないでください。
39. 頭上に少しずつ入れます。
40. 後頭部に入れます。
41. 左右の頬に入れます。
42. 顔の中央を整えます。
43. 顔の下側は少なめにします。入れすぎると下ぶくれになります。

頭が平たい場合

今回は B 頭マチの幅を +5mm してください。今作っている途中なら、頭上・頬・後頭部に少し綿を足して調整します。

8. 胴体マチ G の使い方

胴体も頭と同じ考え方です。F 前と F 後の間に、G 胴体マチを入れて丸い体にします。

8-1. G を 1 本の長い帯にする

44. G 胴体マチ 1/2 と G 胴体マチ 2/2 を用意します。
45. 短い辺同士を中表で合わせて縫います。
46. 長い 1 本の帯にします。

8-2. F 前・G・F 後を縫う

47. F 前パネルに腹下ダーツがある場合は先に縫います。
48. F 前パネルと G マチを中表で合わせます。
49. 上・下・左右の印を先に合わせます。
50. F 前の周囲に G マチの片側を縫います。
51. G マチの反対側に F 後パネルを合わせます。
52. 返し口を残してぐるっと縫います。
53. 表に返して綿を入れます。

胴体の綿加減

胴体は頭より少し柔らかめが可愛いです。ただし、足を付ける下側は少ししっかりさせてください。

9. 手・足・しっぽの作り方

9-1. 手 H

- 54. Hを2枚1組にします。左右で合計2組作ります。
- 55. 中表で合わせ、外周を縫います。
- 56. 付け根側を少し開けておきます。
- 57. 表に返して、綿を軽く入れます。
- 58. 付け根を手縫いで閉じます。

9-2. 足 I

足は自立に関係します。やや固めに綿を入れてください。

- 59. 1本の足に、足側面2枚と足底1枚を使います。
- 60. 足側面2枚を中表で合わせ、横を縫って筒にします。
- 61. 下側に足底パーツを合わせ、ぐるっと縫います。
- 62. 上側を少し開けて表に返します。
- 63. 綿を固めに入れます。
- 64. 上側を閉じます。

9-3. しっぽ J/K/L

初心者は、黄色のしっぽ先を挟み込むより、後付けする方が簡単です。

- 65. Jしっぽ2枚を中表で合わせます。
- 66. 付け根側を開けて、外周を縫います。
- 67. 表に返して、綿をやや固めに入れます。
- 68. K黄色丸パーツ2枚を中表で縫い、表に返します。
- 69. 黄色丸の正面にLハートを刺繍またはアップリケします。
- 70. 黄色丸をしっぽの先に手縫いで付けます。

しっぽのカーブ

カーブを保ちたい場合は、しっぽ全体に少し固めに綿を入れます。子ども向けにする場合、ワイヤーは使わない方が安全です。

10. 頭・体・手足・しっぽの合体

10-1. 頭と体を縫い合わせる

- 71. 胴体の上に頭を置きます。
- 72. 正面から見て、目と鼻口がまっすぐになっているか確認します。
- 73. 横から見て、頭が前に倒れすぎていないか確認します。

74. まち針またはクリップで仮止めします。
 75. 首まわりをコの字とじて手縫いします。
 76. 1周だけでは弱いので、できれば2周縫います。

10-2. 足を付ける

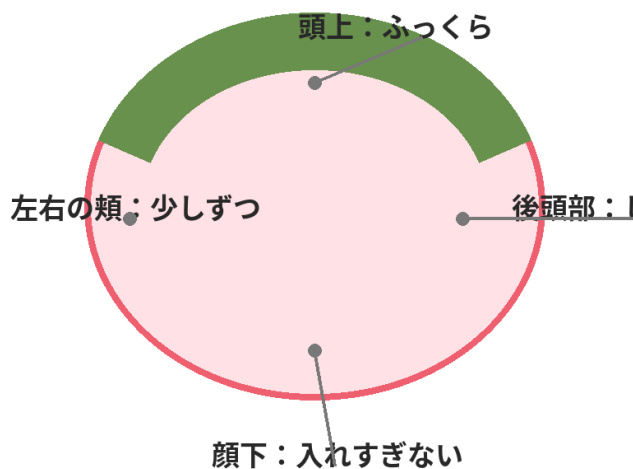
77. 胴体の下に足を仮置きします。
 78. 左右の高さをそろえます。
 79. 少し外側に開くように置きます。
 80. 自立するか一度机に置いて確認します。
 81. 位置が決まったら、手縫いで2周しっかり縫い付けます。

10-3. 手としっぽを付ける

82. 手は胴体の横、頭の下あたりに付けます。少し下向きにすると可愛いです。
 83. しっぽは後ろ側の右寄りに付けます。
 84. しっぽは根元だけでなく、少し上の位置も体に軽く縫い止めると上向きの形を保ちやすいです。

11. 綿詰めと形の直し方

綿詰めのコツ：顔下は少なめ、頭上・頬・後頭部に少しずつ



入れ方の順番

1. 綿を小さくちぎる
2. 耳・足・しっぽ先から入れる
3. 頭は上・後ろ・頬から入れる
4. 顔下は最後に少量だけ
5. 全体を手で揉んで形を整える

綿は小さくちぎって、少しずつ入れるのが基本です。

11-1. 綿の基本

- 大きな塊で入れない。必ず小さくちぎる。
- 細い部分から先に入れる。耳・足・しっぽ先を先に整える。
- 頭は「頭上・後頭部・頬」を中心に入れる。
- 顔下は入れすぎない。
- 入れた後に手で揉んで形を整える。

11-2. よくある失敗と直し方

状態	原因	直し方
----	----	-----

顔が下ぶくれ	顔下に綿が多い	顔下の綿を抜く。次回は下ダーツを 3～5mm 深くする
頭が平たい	頭マチが薄い・綿不足	頭上・後頭部・頬に綿を追加。次回 B マチを+5mm
体が板っぽい	胴体マチが薄い	次回 G マチを+5mm。今は胴体の左右と背中に綿を追加
自立しない	足が柔らかい・内側すぎる	足を固めにする。足を少し外側に付ける
しっぽが下がる	根元固定が弱い	根元を 2 周縫う。途中を 1 か所体に縫い止める
顔が歪む	顔パーツ位置・綿の偏り	綿を左右に揉んで均等にする。次回は縫う前に顔位置を再確認

12. 初心者向け：本体前にマチ練習をする

マチの感覚が不安な場合は、本体に入る前に小さな丸クッションで練習してください。これができれば、頭と胴体も同じ考え方で作れます。

85. 丸い布を 2 枚切ります。
86. 長い帯を 1 本切ります。
87. 丸い布 1 枚の周囲に、帯の片側を縫います。
88. 帯の反対側に、もう 1 枚の丸い布を縫います。
89. 返し口から表に返します。
90. 綿を入れると、小さな丸いクッションになります。

これがマチの正体

「前の丸」＋「横の帯」＋「後ろの丸」。この 3 つで、平面が立体になります。

13. 最終チェックリスト

- ☐ 型紙を A4・100%・拡大縮小なしで印刷した
- ☐ 5cm 確認四角が実寸 5cm だった
- ☐ 実線で切り、破線を縫い線として写した
- ☐ A 前パネルに顔・鼻口・ヒゲを先に作った
- ☐ 緑帽子 C を A 前/A 後に先に縫い付けた
- ☐ A 頭ベースの下ダーツを縫った
- ☐ B 頭マチ 2 本をつないで長い帯にした

- ☐ A 前 - B マチ - A 後の順で頭を作った
- ☐ 後頭部下に返し口を残した
- ☐ 顔下に綿を入れすぎないようにした
- ☐ G 胴体マチ 2 本をつないで長い帯にした
- ☐ F 前 - G マチ - F 後の順で胴体を作った
- ☐ 足は固めに綿を入れた
- ☐ 頭と体は 2 周縫ってしっかり固定した
- ☐ しっぽは根元と途中を固定して上向きにした
- ☐ 最後に左右のバランスと自立を確認した

おまけ：1 体目の考え方

1 体目は完成品ではなく、形を見るための試作品です。頭が平たい、顔下が膨らむ、しっぽが下がるなどは普通に起きます。作った後に、B 頭マチ・G 胴体マチ・ダーツ深さ・綿の量を調整すると、2 体目で一気に良くなります。

次回調整メモ

頭をもっと丸く：B マチ幅を+5mm

体をもっとふっくら：G マチ幅を+5mm

顔下をすっきり：下ダーツを 3～5mm 深く

自立重視：足底を少し大きく、足の綿を固めに